## <平成29年度大阪府高等学校校外学習研究発表会開催概要>

日 時:平成29年6月16日(金)15:40~

場 所:大阪府立大手前高等学校

発表校:大阪府立西寝屋川高等学校

テーマ「熊本・長崎修学旅行 被災地の風評被害と復興支援」

~行かなきゃわからない震災現状、行くだけで支援になった修学旅行~

## 【実施要領】

旅 行 先:熊本県熊本市、上天草市、長崎県南島原市、島原市、雲仙市、佐世保市、長崎市

時期:平成28(2016)年10月12日(水)~15日(土)

実施学年:2 学年 8 クラス 275 名 引率教員 18 名

## (日程概要)

第1日目 10月12日(水)

大阪国際空港(伊丹空港) → 福岡空港(二便) → 水前寺観光センター(熊本市)

→松島港(上天草市)いるかウオッチング → 口之津 → 民泊地(南島原市)入村式

第2日目 10月13日(木)

南島原市にて一日稼業体験活動

第3日目 10月14日(金)

民泊地(南島原市)離村式 → 各地で【希望別体験プログラム】 → ホテル(佐世保) 【希望別体験プログラム】

- ①English Camp in SASEBO コース(留学体験英語学習) ~佐世保市~ニミッツパーク、佐世保公園: English Shopping Game、 外貨(\$)両替と外貨での買い物体験
- ②軍艦島上陸コース(産業の歴史と世界遺産学習) ~長崎市~ 長崎市内観光→長崎港→軍艦島上陸(ドルフィイン桟橋、第一、二、三見学広場) →長崎港
- ③市電で巡る長崎市内コース(歴史と平和学習) ~長崎市~ 長崎市内観光(大浦天主堂、グラバー園、原爆資料館、出島など)
- ④雲仙普賢岳見学と雲仙温泉、島原湧水群と島原鉄道コース(雲仙震災学習) 〜雲仙市・島原市〜

雲仙普賢岳→雲仙温泉→島原湧水群、島原駅-(島原鉄道)-諫早駅

⑤漁船、いかだで海釣り&BBQ・火山、震災学習コース(雲仙震災学習) 〜雲仙市・島原市〜

富津漁港(海釣り) → 土石流被害家屋保存公園

⑥九十九島・マリン体験コース ~佐世保市)~ 九十九島パールシーリゾート:九十九島遊覧船、ヨット体験、シーカヤック体験、水族館 第4日目 10月15日(土)

ホテル  $\rightarrow$  ハウステンボス  $\rightarrow$  福岡空港(一便)  $\rightarrow$  大阪国際空港(伊丹空港) 長崎空港(二便)  $\rightarrow$  (同時刻)

※詳細は、月刊「教育旅行」2017年9月号掲載

# 行くだけで支援になった修学旅行

服部 有晋



校舎外観

### School Data

【創立年】昭和55(1980)年4月

【教育目標】教育基本法に示された教育目標に則 り、知・徳・体の調和のとれた平和 的国家的及び社会の有為なる形成者 を育成する。

【全校生徒数】836名(平成29年6月現在) 【教職員数】65名(平成29年6月現在)

希望者それぞれに対応した進路ガイダンスな 徒たちが楽しみにしている行事である。 めざしている。 る。体育祭・文化祭などの学校行事や部活動 ねざした公立高校として一人ひとりを生かす 元実や少人数展開授業で学力向上に努めて ・ワープロ検定など校内で各種 ・進取という校訓の元、 カナダの姉妹校交流なども生 規律があって明るい校風を 開校以来、 進学希望者就職

### 10 10 10 10 10 実施要項

どの進路指導で希望の進路実現をサポー

【旅 行 先】 熊本県熊本市、上天草市、長崎県南島原市、島原市、雲仙市、佐世保市、長崎市

期】 平成28(2016)年10月12日(水)~15日(土)

【実施学年】 2学年 8クラス275名 引率教員18名

### 【日程概要】

第1日 10月12日(水)

大阪国際空港(伊丹空港) → 福岡空港(二便) → 水前寺観光センター (熊本市) → 熊本空港(一便)

松島港(上天草市)いるかウォッチング → 口之津港 → 民泊地(南島原市)入村式

第2日 10月13日(木)

南島原市にて一日家業体験活動

第3日 10月14日(金)

> 民泊地(南島原市)離村式 → 各地で【希望別体験プログラム】 → ホテル(佐世保) 【希望別体験プログラム】詳細

①English Camp in SASEBOコース(留学体験英語学習) ~佐世保市~

ニミッツパーク、佐世保公園: English Shopping Game、外貨(\$)両替と外貨での買い物体験

②軍艦島上陸コース(産業の歴史と世界遺産学習) ~長崎市~

長崎市内観光 → 長崎港 → 軍艦島上陸(ドルフィン桟橋、第一、二、三見学広場) → 長崎港

③市電で巡る長崎市コース(歴史と平和学習) ~長崎市~

長崎市内観光(大浦天主堂、グラバー園、原爆資料館、出島など)

④雲仙普賢岳見学と雲仙温泉、島原湧水群と島原鉄道コース (雲仙震災学習)〜雲仙市・島原市〜 雲仙普賢岳 → 雲仙温泉 → 島原湧水群、島原駅 - (島原鉄道) - 諫早駅

⑤漁船、いかだで海釣り&BBQ・火山、震災学習コース (雲仙震災学習)~雲仙市・島原市~ 富津漁港(海釣り) → 土石流被害家屋保存公園

⑥九十九島・マリン体験コース~佐世保市~

九十九島パールシーリゾート:九十九島遊覧船、ヨット体験、シーカヤック体験、水族館

第4日 10月15日(土)

ホテル → ハウステンボス → 福岡空港(一便) → 大阪国際空港(伊丹空港)

長崎空港(一便) (同時刻)

# 目的地と交通手段の選定にあたって

本校では修学旅行の企画は各学年団に委ねれ、直後から旅行先の選定にあたって担任会れ、直後から旅行先の選定にあたって担任会が協議を重ね3月には旅行先、旅行会社を決

ら寝るまでの時間」を共に過ごすことで家業 はなく、その家庭の一員となり「朝起きてか 深めることを重視している。そこで今学年の と。また、規律正しい集団生活を通じて、社 感し、豊かな人間性と健全な心身を育むこ 期が10月であることから気候が温暖である九 きる民泊を企画することにした。 の苦労を共にし、1日を終えた団欒を体感で にし、それまでの体験プログラム型の民泊で 泊体験を通して自然の恵みと人の温かさを体 本・長崎に決定した。本校の修学旅行では民 る。このような条件を満たすところとして熊 化・歴史・産業・経済などが学べることであ 州地方であること。そして3点目が地域の文 る。 1 点目が家業(職業)体験型学習の効果 修学旅行ではこれまで1泊だった民泊を2泊 会性や協調性を体得させ、仲間同士の友情を が得られる場所であること。2点目が実施時 選定にあたり重視したポイントが3つあ

何が被災地の支援になるのかを考

化に深く触れることができる。さらに、南島その土地の雰囲気だけではなく、人や生活文会」が主催している農林漁業体験民泊では、長崎県南島原市の「南島原ひまわり観光協

●重点を置いた活動

のとなった。 一学」がわかるもので目的地選定の1 別視点からの情報であり、なにより保護者も 配信している。これは付添いの教員ではない 配信している。これは付添いの教員ではない により保護者も にないではないの教員ではない があかるもので目的地選定の1

空港及び新幹線の駅などの位置関係や経路を 乗り遅れても新幹線で追いかけられるように 券は非常に高額である。そこで仮に飛行機に の搭乗券を購入することになる。しかも当日 る。飛行機に乗り遅れた場合、新幹線のよう の方への迷惑解消である。しかし、問題もあ にかかる時間や、ホームでの混雑による一般 移動手段の課題として挙がる、新幹線乗降時 時間の短縮。そして、3点目が例年本校での 団の思いとして生徒に社会の仕組みを学ぶ1 とした。その理由は3つあり、1点目が担任 学年では当初より飛行機による移動をメイン 関も併せて考えなければならない。熊本・長 考慮し目的地の選定を行った。 に後続の自由席への振替は出来ず、再度後続 つとして搭乗体験をさせたい。2点目が移動 崎であれば新幹線でも移動が可能であり、実 際昨年まで新幹線を利用していた。しかし本 目的地の選定にあたっては利用する交通機

ものか、自分の目と耳で確かめ

# 震災によって変わった事前指導・学習

風評被害とはどんな

7が襲った。本校でも地震直後から旅行会社翌日に震度6強、さらに翌々日には再び震度翌日には再び震度

徒から「熊本に水を送った」、「募金をした」 の情報を比較させることで風評被害について 事や自分たちが調べた情報、そしてネット上 自分たちが何によって物事を判断しているの という声が聞こえた。 も考えさせた。このような指導の中一部の生 た、「九州全体が危ないと勘違いされている」、 か、その判断は正しいのかを考えさせた。ま た。また例年であれば現地の歴史や文化、 を通じ現地の情報を収集、担任団は時期の変 に出回ったフェイクニュースを紹介し、普段 に変更した。その中で震災直後からネット上 状況を調べ、支援とは何かを考えさせるもの 業などを調べていた事前学習は被災地の被害 長崎では地震被害はゼロ」といった新聞記 目的地の変更をも視野に入れ協議を重ね

震災前、修学旅行の行き先を発表した際、 前年度の修学旅行先に東京ディズニーリゾー トが入っていたこともあり今回震災による時 声が挙がった。それもあり今回震災による時 声が挙がった。それもあり今回震災による時 地、目的地の再検討にあっては生徒の意見 を取り入れ不満を解消することも考えられ を取り入れ不満を解消することも考えられ を取り入れ不満を解消することも考えられ を取り入れ不満を解消することで生徒の 自己肯定感が高まるのではないかという担任 団の思いもあった。そこへ救援物資などの支 援を行った生徒が現れたことはまさに担任団 の思いと一致するものであった。そこで支援 をした生徒の例を伝え、「特別なことをしな くてもいい、ただ行くだけで現地の人は喜んで くれ、それが支援になる」と、熊本、長崎に くれ、それが支援になる」と、熊本、長崎に

教育旅行 2017年9月号

行く意義を理解してもらうことに重きをおい と耳で確かめる」という目的を追加した。 考え、風評被害とはどんなものか、自分の目 た。そこで「何が被災地の支援になるのかを

りやすく紹介していただき、さらに「くまモ を交えながら、地理・歴史・見どころをわか 隊による講演会が実施された。熊本県の方言 きく貢献していただいた。 合写真を撮るなどモチベーションアップに大 ン」と一緒にくまモン体操を踊り、記念の集 本校に「くまモン」を招きモチベーションの チベーションの低減が見受けられた。そこで アップを狙った。熊本県大阪事務所にくまモ **ン隊出動依頼を申請、結団式当日はくまモン** しかし熊本地震を機に修学旅行に対するモ



くまもん来校



田んぼで稲刈り

# 特に重点をおいた活動・プログラム

る」と言ってお世話になっている方を見て喜

ない。毎年民泊に関しては行く前から否定的 地域の人々と交流を育む」ことを目的として は「南島原の自然と親しむ体験活動を通し、 歴史・産業などの学びである。今年の民泊で な意見が多く今年も「民泊は行きたくない にすることは大きな不安であることは間違い 徒が初めてで、初めて訪ねる家庭で生活を共 の姿勢に気を配った。一部中学時代に民泊を おり、事前指導の段階から生徒たちの民泊し 重点をおいていたのが民泊と、地域の文化 経験している生徒がいるもののほとんどの生 先述の通り修学旅行の実施に際し当初から

> ても実施後のアンケートでは良かったと回 った。しかし例年そんな否定的な生徒であ もぎりたてのみかんは甘くて、おいしすぎ ほんまにいい人たち」、「ご飯がおいしい」、 で生徒のイキイキとした姿がみられ「みんな た。その他巡回では南島原の郷土料理を作る ープでは朝4時に起き海に出たところもあ **家庭へと分散していった。2日目は朝から家** であれば必ず笑顔で終えられると判断した。 なんで民泊が2日もあるんだ」との声も多か でお会いした方々などを考えると本校の生徒 していること、南島原の美しい自然と、下見 クループや、薪割り、畑仕事など様々な場所 **業体験が始まる。漁業でお世話になったグル** お世話になる方との対面をすませた後各 昼の巡回の際には全員爆睡状態であっ 生徒は不安げな表情で入村式を迎



釣った魚をさばく生徒

のない体験ができた時間であったと確信し と言われると目に涙を浮かべ「もっとここに た2日の滞在ではあったが生徒にはかけがえ で別れをする姿はとても印象的だった。たっ いたい」「また絶対に遊びに来る」と、握手 いただいた代表の方に「また帰っておいで んでいた。そして3日目、離村式ではお世話

Campと言う留学体験英語学習を取り入れ る。留学に興味を持つ生徒は多いが、参加で った。そして最終日はハウステンボスで異国 学習として土石流被害家屋保存公園などへ行 991年6月に発生した大火砕流による震災 長崎市内研修コース。九十九島パールシーリ 産業の歴史を学ぶ世界遺産学習として軍艦鳥 では参加者全員が「良い」と答えた。その他 るところが大きな特徴で、生徒のアンケート する。このように国内にいて留学経験ができ で外貨(\$)に両替を行い、外貨で買い物を こでのホームビジットと買い物体験。しかも た。佐世保市は米軍基地もある国際都市。そ きる生徒は限られており、涙を呑む生徒も多 の高校と隔年で2週間の交換留学を行ってい 情緒を満喫し今年度の修学旅行を終えた。 ット体験など。そして雲仙普賢岳の麓では1 ゾートでは美しい九十九島の自然を感じるヨ て大浦天主堂、原爆資料館、出島などを巡る ただ買い物をするだけではない。まずは銀行 (端島)への上陸見学、歴史と平和学習とし 3日目は学習の場でもある。 本校はカナダ そこで選択コースの1つにEnglish

感じた

肌で感じられた瞬間であった。実施後の生徒 村式会場ではNHKの取材カメラが来てい きと喜びの声で答える生徒、その顔は少し誇 なるんだよ」と言うと「こんなんで?」と驚 てお土産を買うことや、楽しむことが支援に で確かめたことで印象もよくなっている。 じておらず、実際に現地を訪れ自分の目や耳 アンケートでも7割の生徒は震災の影響を感 た。これもまた生徒にとって被災地の復興を 本地震からちょうど半年と言うこともあり離 学旅行であった。民泊先を発つ10月14日は熊 驚異と安全と安心を考えなければならない修 山が36年ぶりの爆発的噴火と直前まで自然の お土産をいっぱい抱えた生徒に「そうやっ 熊本地震から始まり、出発4日前には阿蘇

26.2% 6.1% 良くなった 変わらない 悪くなった 69.4% 29.0% 1.6% 係や、小さなコミュニティー なっていた狭い範囲の人間関 させていただく。 に生徒の声を紹介し、 れることを願っている。最後 からの脱却の転機になってく れまでの物事の判断の基盤と 旅行の中で得られた経験がこ らしげな表情だった。 このような事前学習、修学

は普段ずっと英語で会話をす イングリッシュキャンプで

> ったら伝わるかを学んだ。絶対に進学して留 ることはないけど、わからないなりにどうや

三泊とも民泊でもよかった。 一泊ではあそこまでは仲良くなれなかった。 ・民泊なんか二泊は長いと思っていたけど、 一泊だったからこそ家の人と仲良くなれた。

けど腰がすごく痛くなったのでいつもされて クチャ早く刈れるようになった。楽しかった きなかったけど、後からプロってきてメチャ いる農家の人は大変なんだと思った。 ・稲刈り体験は初めてのことで全然うまくで

やった。 け触れた感じがした。また途中ですれ違う人 らいとても景色がきれいで、歴史にも少しだ がみな挨拶をしてくれるあったかい人ばっか ・島原の乱で有名な原城跡に連れて行っても

びっくりした。 ばくこともはじめてで、自分ができたことに く、船の上で釣りをしたのも、釣った魚をさ の先でみんなと座っていたときは気持ちよ 行きの船では酔ったのに、おっちゃんの船

りとさわらの違いもわかるようになった。 響を感じたが生で見ることが出来て勉強にな 父さんや、お母さんと離れるのが悲しかった。 分の田舎に帰ったように感じた。離村式でお ・民家の人がとってもいい人で、話していて自 な魚は食べれたし、おいしかった。それにぶ ・魚はほんまは苦手やけど、釣りたての新鮮 一部道が崩れているところもあり地震の影